

連合群馬 議員懇談会 平成26年度 県予算学習会を開催

2月13日、連合群馬議員懇談会は、群馬県勤労福祉センターにおいて、群馬県における平成26年度予算の編成を受け「予算学習会」を開催しました。景気回復・成長予算と銘打ち、総額6,815億8,700万円（前年対比+2.3%）の内訳や重点施策などについて、県総務部財政課の服部次長より説明を受けました。

景気回復の動きを県内隅々に行き渡らせ、群馬県が将来にわたって持続的に発展していけるよう、基本目標にあげている「地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり」「誰もが安全で安心できる暮らしづくり」「産業活力の向上・社会基盤づくり」の3つの柱それぞれの予算について詳しく説明されました。

意見交換では、本年4月から納税することとなる「みどりの県民税」



の活用に関して、地域からの事業申請の方法の質問がだされるなど、有意義な場となりました。

平成26年度予算は、3月19日、高崎コンベンション施設建設に係る部分について、議会の承認を得てから執行するとの付帯決議とともに賛成多数で議決されました。



説明を行う県総務部財政課服部次長
 説明を行う県総務部財政課服部次長
 高崎コンベンション施設建設に係る部分について、議会の承認を得てから執行するとの付帯決議とともに賛成多数で議決されました。

予算議会の模様は、群馬県HPから議会録画中継で確認できます。是非チェックしてみてください。

予算の説明に聴き入る議員懇談会員

栄村で除雪ボランティア

2月22日～23日、ぐんま労福協主催の震災復興ボランティアに産別・地協から27名が参加し、震災で大きな被害を受けた長野県栄村の2施設周辺の除雪作業を行いました。

栄村が運営するトマトの国と国際絵手紙タイムカプセル館の建物周辺には、重機で取り除くことができない雪が人の背丈以上積もっており、人手による除雪が必要な状態であり、スコップを使って丁寧に除雪しました。

参加者は、「過疎化が進む栄村の発展に少しでも貢

献したいと思い参加した」「豪雪地域で暮らす人たちの苦勞が分かった」と話していました。

除雪ボランティアは、東日本大震災により被災した地域の支援活動として、2012年2月から手掛けており延べ108名を派遣しています。



一致団結して雪と格闘した参加者

連合群馬ふれあいフェスティバル開催決定!!

【昨年の開催風景】



協力団体による模擬店（安中） 震災復興支援ブース（伊勢崎） 地元高校のブラスバンド（桐生） 子ども達のチャリティー（渋川）

5月25日（日）開催			
桐生会場	笠懸野文化ホール（パル）	渋川会場	渋川スカイランドパーク
伊勢崎会場	あずま総合運動公園	藤岡会場	ららん藤岡
太田会場	太田市新田陸上競技場	富岡会場	富岡小学校・体育館
沼田会場	川場村体育館	安中会場	安中市文化センター
館林会場	いずみの杜	吾妻会場	バイテック文化ホール
6月1日（日）開催			
前橋会場	前橋公園 みどりの散策広場	高崎会場	もてなし広場